

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
(メール tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/)

建交労 **の** とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03(3820)8644(代)
fax 03(3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円(〒60円)



国土交通省前の道路を埋め尽くす、全国から集まった建交労の仲間達



国鉄1047名問題、交通運輸の安心安全の要請を求める、国交省への個人請願の様子

11月18日水曜日の日、建交労中央行動が行われ、全国から360人、都本部からは109人の仲間が参加しました。まず国土交通省前で建交労独自の意思統一集会、その後、交通共闘中央行動に切り替わり、要請行動、個人請願行動を行い、次に厚労省に對し、同じく要請と個人請願を行ないました。厚労省への請願内

内容は、交通労働者の労働条件向上と、安心安全な医療・介護・社会保障制度の確立を求めるものです。この交通共闘中央行動には全体で千数百人が集まりました。この要請行動と同時進行で建交労ヘルパーと、建交労福岡による雇用対策を求める厚労省交渉、国鉄争国交省交渉も行なわれていきます。昼食休憩の後、日比谷野音にて全労連

・春闘共闘主催の、09秋年闘争要求実現11・18中央決起集会を行ない全体で二千五百名が結集し、会場ではムシ口旗も掲げられていました。集会で挨拶した全労連大黒議長は、労働者や中小企業を守る為、国に緊急的な対応と、大企業に社会的責任を求め、闘い、要求実現への闘い、国民が主人公

の政治を実現しよう」と訴え、闘いの交流で、東京医療労働者連からは、先ず、一年半待ちと、刻々医師・看護士の不足の改善を訴えてい

労働者性を争う争議で、INAX本社とINAXメンテナン

全労連、八建交労中央行動 闘と結合して新政権、財界 に要求実現を求める

【遠藤晃通信員】
すがる建交労の素晴が言
え、さ、原爆二世の方
深の切実な話、家族の事



中央女性部第十回大会 仲間っていいなあ

東京女性部委員 山崎容子

一番乗りで会場に着いた時、「結成十年の到達点を土台に、活かそう憲法、なくそう貧困と格差、めざそう十万人建交労」という横断幕のステージがとてまぶしかったです。
自己紹介の後、私の職場での女性の大切さ、茶汲みの負担を思い、切つて述べました。長野の企業組合の人から、「とても切実な内容で伝わってきた」と声をかけてきた。よかったです。長野の企業組合では、女性の企業茶汲みは一切廃止され、各自が自分の仕事は自分で決めたという事です。
初めて参加したのに、仲間っていいなあ、と親近感がわきました。各地方から参加された皆さん、素顔で、普段着で、飾らず、いきいきと発言され、ちのき運動の血が、引き継がれているのを感じました。その中で、原爆二世の方、家族の事、深の切実な話、家族の事



